

産業能率大学 情報マネジメント学部

社会科学入門	履修年次	1	
	単位	2	
黒川 都史紀	配当期	前・後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>授業の最初に、社会科学の意義など曖昧模糊としている社会科学の全体像を明らかにする。次に社会科学が誕生したヨーロッパ近代社会の成立・発展の過程を学習し、「近代化」の意味を考える。歴史の原動力を生産様式の変化とし、資本主義社会の生成・発展・没落を説いたカール・マルクスやマックス・ウエーバーの社会科学の方法についても触れ、その今日的意味を探る。</p> <p>明治維新による近代国家の建設、戦後の民主改革などわが国の「国のかたち」のしくみを理解するとともにこの「国のかたち」形成するために努力してきた先人の思想や考えについても学習する。さらに、今日的な課題でもあり、将来の日本の「国のかたち」に影響を与える沖縄の基地問題と日本の安全保障、憲法をめぐる問題、若者の政治参加のあり方、持続可能な社会をめざす経済発展と環境保護の問題、少子高齢化社会の日本経済の課題など政治、経済、社会および近現代史に関わるテーマを広く学習する。</p> <p>授業では、教材として新聞資料、文献の抜粋などを活用する。授業の理解度を高めるためにも「授業外学習」にも積極的に取り組むよう期待する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・諸々の社会事象に対する歴史的な視点を踏まえた科学的なものの見方、考え方について理解を深める。 ・民主主義社会の建設の歴史について、その思想、先人の取り組みについて理解できる。 ・政治、経済のニュースを取り上げて、そのニュースを自分の生活と関連づけて理解できる。 ・わが国が抱えている政治・経済の課題について、エビデンスをもとにコメントできる。 			
成績評価の方法			
・授業への参加度、授業外学習、提出課題を総合的に判断して評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンス社会科学とは何か	8	日本現代史②沖縄問題と日本の安全保障
2	社会科学と近代社会	9	日本国憲法とその課題
3	社会科学の方法①K. マルクス歴史の進歩と資本主義	10	民主主義とその課題
4	社会科学の方法②M. ウエーバー資本主義の精神	11	日本の雇用・労働問題
5	社会科学の方法③トマ・ピケティ資本主義と所得格差	12	経済発展と地球環境問題
6	日本の「近代化」の歩み	13	原発とエネルギー問題
7	日本現代史①第二次大戦後の日本	14	日本社会の未来と社会科学